

# 香川県教育基本計画（素案）について提出されたご意見とそれに対する 県教育委員会の考え方

問い合わせ先

教育委員会事務局総務課

〒760-8582 高松市天神前6番1号

電話:087-832-3736/FAX:087-806-0233

E-mail: kyoisomu@pref.kagawa.lg.jp

平成27年12月10日から平成28年1月12日までの間、香川県教育基本計画（素案）について実施したパブリック・コメント（意見公募）では、個人3人から21件のご意見が寄せられました。ご意見をいただきありがとうございました。

〈ご意見の提出者数〉

個人 3人

〈提出されたご意見の数〉

21件

ご意見の要約とそれに対する県教育委員会の考え方を以下に示します。

| ご意見（要約）  | ご意見に対する教育委員会の考え方   |
|--|--|
| <b>はじめに</b>  |  |
| <p><b>(P1) 計画の性格</b><br/>従来の「香川県子ども読書活動推進計画」を「香川県教育基本計画」に入れてしまうことによって、この分野の内容が薄まり、意見公募も出てきにくくなるのではないか。（従来は、独自の計画であったし、他都道府県もそのようにしているところが、多数である）</p> | <p>子ども読書活動推進計画については、教育基本計画の中で一体的に示すことにより、子どもの発達段階に応じた読書活動の推進を一層図ることとしたものです。今後も幅広く意見の集約に努めます。</p>                             |
| <b>① 確かな学力の育成と個に応じた教育の推進</b>   |  |
| <b>①-① 確かな学力の育成</b>  |  |
| <p>(P37, 38) <b>1-①-1・2・3</b><br/>課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の推進に期待している。その際、落とし子を生み出さないよう環境整備が必要である。</p>  | <p>将来の変化を予測することが困難な時代において、一人ひとりがみずからの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生をみずから作り出していけるよう、児童生徒の実態に応じて指導方法や体制を工夫・改善して、個に応じた指導の充実を図ります。</p> |
| <b>② 豊かな人間性をはぐくむ教育の推進</b>  |  |
| <b>②-④ 豊かな感性や情操をはぐくむ教育の推進</b>  |  |
| <p><b>(P59) 現状と課題</b><br/>「12学級以上の小・中学校と、すべての県立学校に司書教諭を配置しており、」とあるが、11学級以下の小・中学校には、司書教諭は、各々、11.1%、19.2%しか配置されていない。全国平均</p>                           | <p>学校図書館法に基づき、平成15年度から12学級以上の学校においては、司書教諭を配置しなければならないことになっています。<br/>県教育委員会では、全国に先駆けて平成14年度から12学級以上のすべての学校に司書教諭を配置し</p>       |

|   |  |
|---|--|
| <p>は、各々27.2%、28.2%である。このことを課題としてあげ、取組みを盛り込むべきである。</p>   | <p>ています。さらに、平成15年度から司書教諭の養成を進め、その配置の充実に努めています。</p>   |
| <p>(P59, 60)<br/> 学校図書館は、「豊かな感性や情操をはぐくむ」読書センターとしての役割だけでなく、「主体的、意欲的な学習」を充実させていく学習センター、情報センターとしての役割を持っている。<br/> 後者の視点に立った記述を「現状と課題」や「施策の方向」に追加すべきである。<br/> 例えば、「学校図書館を活用した効果的な授業づくりを行う学校図書館活動推進校を配置する」、「学校図書館を活用した授業の計画的実施をしている学校の割合を増やす」等。</p> | <p>学校図書館の役割や機能については、<b>1</b>－①－4「言語活動の充実」や<b>2</b>－④－4「学校における読書活動の推進」を通じて充実を図ってまいりたいと考えています。<br/> また、高校では、読書活動の推進に係る研究指定校を設け、生徒の自主的な読書活動の推進に向けた実践研究に取り組んでおり、その一環として各教科と連携を図り、課題研究や調べ学習などにおいて学校図書館を積極的に活用した授業づくりを促進しています。</p>                                       |
| <p>(P60) <b>2</b>－④－4<br/> 「・・・研修の実施や、・・・学校司書の配置に関する市町教育委員会への働きかけなどを通じて・・・」とあるが、学校司書の配置や研修について、市町教育委員会へ働きかけるだけでなく、県や県教育委員会が、もっと指導し、支援する姿勢を記述すべきである。</p>   | <p>県教育委員会では、すべての県立高校に学校司書を配置するとともに、小・中学校への配置促進を市町教育委員会に働きかけています。また、平成27年度から、新たに学校司書の研修を実施しています。</p>  |
| <p>(P60) 数値目標<br/> 児童生徒は、学校図書館や地域の図書館を、「読書」だけでなく、「学習」のためにも利用している。漫画の中にも、歴史、古典、平和、理科等に関する漫画も多いので、教科書、参考書、漫画、雑誌を除く理由は特にない。</p>  | <p>この指標は、文部科学省の全国調査の結果を利用しているものです。なお、漫画や雑誌には多様なものがあり、資料として適すると考えられるものもありますが、そうではないものもあるため、本調査からは除かれています。</p>   |
| <p><b>④ 元気で安心できる学校づくり</b></p>   |  |
| <p><b>④－① 優れた教員の確保と資質能力の向上</b></p>  |  |
| <p>(P73)<br/> 学校のマネジメント機能の強化が求められる中、事務職員の資質向上も今後の大きな課題の一つである。事務職員も世代交代の時期であり、人材育成は急務である。<br/> この体系のタイトルを「優れた教職員の確保と資質能力の向上」に改め、施策の方向に「事務職員の資質向上体制の整備」を加え、主な取組みとして「事務の共同実施の充実」を盛り込んでもらいたい。</p>   | <p>教員が子どもと向き合う環境づくりを進めるためには、事務職員をはじめ教員以外のスタッフの資質向上が不可欠であると認識しており、<b>4</b>－②－1において、チームとして役割分担できる体制づくりに努めていくことにしています。</p>  |
| <p>(P73) <b>4</b>－①－1<br/> 施策の方向の一つ目の「基本研修、職務研修などの充実」と二つ目の「選択型の専門研修等の見直し」が相反するものにならないよう、研修のより一層の充実が望まれる。</p>  | <p>基本研修は教職経験に応じた知識・技能等の習得など実践的な指導力の向上を図り、職務研修は職責・職能に応じた知識・技能の習得など、職務遂行能力の向上を図ることを目的として実施しています。<br/> 専門研修は、基本研修及び職務研修を補う選択型の研修として、学校を取り巻く環境の変化や学校が抱える多様な課題等に対応した専門的な資質・能力の向上を図ることを目的として実施しています。<br/> このような視点で、基本研修、職務研修の充実と専門研修の見直しが相反するものにならないよう、教員研修の充実に努めます。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>(P74) 4-①-3<br/>採用後の教育センターにおける研修等や各学校における指導体制の整備も重要だが、一番は、「優秀な教員の採用」だと考える。そのためには、受験者を増やすための「◆積極的な広報活動」だけではなく、「◆多様で多面的な採用選考方法」も必要ではないか。</p>  | <p>教員採用選考試験においては、これまでも人物重視の選考をするために、さまざまな立場の方に加わっていただき、多面的な選考を実施しています。また、民間企業等での勤務経験を有する者を対象とする特別選考を実施したり、面接において得意分野や重点履修分野について聴取したりするなど、採用選考の方法を工夫しています。</p>            |
| <p><b>4-② 教員が子どもと向き合う環境づくり</b></p>   |  |
| <p>(P75) 現状と課題<br/>1つ目の○は、教員が子どもと向き合う時間の確保とは、関係がないと思われる。不祥事の根絶を目指して一層の信頼を得るのがメインであるのならば4-③に記載するのが適当だと考える。(研修の充実がメインであるのならば4-①へ。「研修資料」については、4-①-2で触れておくとよいと考える。)</p>  | <p>教職員が多忙感や負担感から冷静な判断を欠き、非違行為や不祥事につながる場合も考えられることから、4-②に記載していましたが、ご意見を踏まえ、4-③に記載します。</p>  |
| <p>(P75) 4-②-1<br/>施策の方向の4行目以降に「校長のリーダーシップのもと」という文言が必要ではないか。</p>   | <p>ご意見を踏まえ、P75「施策の方向と主な取組み」の一つ目の○の2段落目を次のとおり修正します。<br/>「(前略) 校長のリーダーシップのもと、チームとして適切に役割分担できる体制づくりに努めます。」</p>  |
| <p>(P75) 4-②-1<br/>「教員や学校事務職員とともに、チームとして適切に役割分担できる体制づくりに努めます。」に対応する取組みが記載されていない。2番目の「◆校務の効率化による学校運営の改善」に含まれているのか？<br/>これからの学校教育は、校長先生のリーダーシップのもと教員だけでなく学校事務職員やその他の専門職員と役割分担や協業して行うことが求められている。「校務分掌の見直し」や「適切な役割分担の見直し」といった文言が必要ではないか。</p> | <p>校務分掌の見直しや適切な役割分担の見直しについては、「○」の中の「教員や学校事務職員とともに、チームとして適切に役割分担できる体制づくりに努めます。」という文言で記載しています。<br/>また、取組みについては、主なもののみを記載しておりますが、ご指摘の点は、「校務の効率化による学校運営の改善」に含まれると考えています。</p> |
| <p>(P75) 4-②-1<br/>主な取組みは3つとも前回と同じだが、この5年間、「教員業務改善検討委員会」を設置・協議するなど、「研修や調査の見直し」や「学校現場における会議や学校行事の精選」、「ICTを活用した校務の情報化の推進」に取り組んできている。それでもなお、子どもと向きあう時間を生み出せていない現状を考えると、視点を変えるなど新たな取組みも必要かと考える。</p>  | <p>教員業務改善アクションプランやICTを活用した業務負担軽減支援をはじめとするさまざまな取組みの結果、学校アンケートではすべての小・中学校が「校務の改善につながった」と回答しています。<br/>引き続き、教員業務改善検討委員会等において、協議、検討を行い、新たな取組みを含めた業務の改善を進めてまいります。</p>          |
| <p><b>4-③ 信頼され、魅力ある学校づくりの推進</b></p>  |  |
| <p>(P77) 施策体系の基本的な考え方<br/>施策体系のタイトルには「魅力ある」という言葉があるので、基本的な考え方の4行目にも加えてはどうか。</p>  | <p>基本的な考え方に記載した内容全体を通して、魅力ある学校づくりにつなげてまいりたいと考えています。</p>  |
| <p>(P77) 現状と課題<br/>2番目の○について、「評価によって明らかになった課題に基づいた教育活動や学校運営の見直しが継続的に行われている」が、改善までに反映さ</p>  | <p>学校においては、学校評価によって明らかになった課題に基づいた教育活動や学校運営の見直しが継続的に行われ、検証・改善の取組みが浸透してきています。</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>れないのはどうしてか？時間・人・財源の不足は大きいと感じる。</p>   | <p>今後とも、学校評価のより効果的な活用や評価結果を生かした学校運営の改善に努めてまいります。</p>  |
| <p><b>(P77) 施策の方向と主な取組</b><br/>         施策の方向として、「学校組織マネジメント体制の整備促進」を加えていただきたい。<br/>         現計画では、「教員が子どもと向き合う環境づくり」の施策の方向に「学校組織マネジメント体制の整備促進」が掲げられているが、次期計画案では削除されている。マネジメント体制の整備は、教員が子どもと向き合う時間を確保するだけでなく、各学校の自主性・自律性の確立と自らの責任と判断による創意工夫を凝らした特色ある学校づくりの実現のためにも必要である。そのため、魅力ある学校づくりの施策に加えていただきたい。<br/>         そして、専門能力スタッフが学校教育に参画して、教員が専門能力スタッフ等と連携して、課題の解決に当たることができる「チームとしての学校」体制が進めば、事務職員の役割は大きくなると考えている。取組として、学校事務体制の整備のための、共同実施体制の強化や事務職員の職務の明確化を加えていただきたい。</p> | <p>4-②-1 「各学校における校務改善の推進」、<br/>         4-③-1 「地域と連携した開かれた学校づくりの推進」及び2 「学校評価システムを生かした学校運営の改善」などを通じて、学校組織マネジメントの整備、充実を図ってまいります。</p>                          |
| <p><b>(P78) 4-③-2</b><br/>         「◆学校評価の実施のための教職員の研修の実施」は、既に学校評価は実施しているので、実施のための研修よりも、「活用・検証のための研修」としてはどうか。</p>   | <p>学校評価は、いわゆるPDCAサイクルに基づき実施されており、活用・検証も含めた学校評価の実施のための研修として記載しています。</p>  |
| <p><b>(P78) 4-③-3</b><br/>         「◆教員配置の配慮」が少し唐突に感じられる。施策の方向で少し触れてはどうか。</p>   | <p>教員の人事配置に当たっては、魅力ある学校づくりを念頭に、学校が、特色ある教育活動を展開することができるように進めています。</p>  |
| <p><b>(P78) 数値目標</b><br/>         対象が高校のみだが、すでに小中学校は100%ということか。</p>   | <p>小・中学校はすでに100%のため、数値目標を設けていません。</p>   |
| <p><b>④-④学校安全の充実</b></p>  |   |
| <p><b>(P79) 現状と課題</b><br/>         3番目の○について、最近、子どもたちの自転車乗用中の事故は加害者となるケースも増加している。自転車についての道路交通法も改正されたので、こういった面についての記載も必要かと考える。</p>   | <p>ご意見を踏まえ、P79「現状と課題」の3番目の○を次のとおり修正します。<br/>         「○ 子どもたちが関係する交通事故の大部分は自転車乗用中の事故です。今後も子どもたちが被害者にも加害者にもならないよう、(後略)」</p>                                  |
| <p><b>⑤ 社会全体で子どもを育て、いつでも学べる環境づくり</b></p>  |   |
| <p><b>⑤-① 親育ちを応援する環境づくり</b></p>   |   |
| <p>子育ての根源を見直す必要があると思うが、一人ひとりにあった支援の在り方を望む。敏感な親子を遠ざけないよう気をつけて欲しい。</p>  | <p>人間関係が希薄化し、地域とのつながりが弱まる傾向にある中、子育てに不安や悩みを抱える保護者も多くなっていることから、啓発冊子等により知識や情報を提供したり、ワークショップ等の開催により保護者のネットワークづくりの場を提供したりするなど、ご指摘の点にも留意しながら、保護者の支援に努めてまいります。</p> |